

しらゆり森のようちえん&森のしょうがっこう

～木育・自然あそびプロジェクト～

仙台白百合女子大学 人間学部人間発達学科

幼児期の自然活動は、のびのびと身体を動かすだけでなく、五感が刺激され子どもの成長に大きな影響を与えていると考えられています。

日時：2020年10～11月
2回実施

場所：仙台白百合女子大学
中庭&体育館

大学の敷地内で子ども達と自然（花・木・森）を活かした遊びを楽しみながら、幼児期の成長に欠かせない好奇心や協調性・想像力を養う活動を行いました。

学生自ら企画を考え、自然の中で遊ぶ楽しさを感じる活動です。



大学の敷地を散策しながら、木の枝や葉っぱを拾う、虫などの声を聴く等の活動をする

「フィールドビンゴ」ゲームを通し五感を養います。

かぼちゃの「宝探し」や落ち葉を集める活動もしました。



「落ち葉アート」は、色鮮やかな落ち葉（緑・赤・黄・茶色）を拾い「しらゆり」の文字を完成させました。

他にも、落ち葉の窓やクリスマスにちなんだボードを探す活動もしました。



戸外だけでなく、室内での伝承あそび環境も設定しました。今回は「こま」「けん玉」を準備しました。

伝承あそびは、子どもの発想力や集中力、コミュニケーション能力が上がるだけではありません。親・祖父母の方が遊んでいた物を受け継ぐこと（縦の繋がり）ができ共有財産にもなります。

field bingo K

フィールドビンゴ系カード



「もくロック」は木の素材や香り、木目を五感で感じる事ができます。室内でも自然の魅力を感じてもらえる玩具です。

自然活動に時間制限はなく、1つの活動でも工夫するだけであそびの質が高まります。



生活様式の変化により室内で遊ぶ子どもが増えている中、子ども達に自然の中で遊ぶ楽しさをどう伝えていくかが今後の課題です。